

<報道発表資料> (経済同時)

> 令和7年11月14日 京都市産業観光局産業企画室

## 第 156 回京都市中小企業経営動向実態調査結果

京都市では、市内の中小企業者の経営実態や経営動向を把握するため、四半期ごとにアンケート調査を実施しています。第 156 回(令和 7 年 7~9 月期)調査を実施し、併せて「新事業展開、海外展開及びデジタル化・DX」についても調査しましたので、それぞれの結果を公開します。

### 【市内中小企業の景況について (別紙1参照)】

### 1 今期(令和7年7~9月期)実績

- ・ 今期の企業景気 DI は、全産業で▼5.2 ポイント(43.8→38.6)。7 期連続で基準となる 50 ポイントを下回る結果となった。インバウンド需要により好調であるといった意見が見られた一方、原材料価格の高騰や人手不足、米国関税措置等による影響を懸念する意見が見られた。
- ・ 業種別では、製造業で▼4.2 ポイント(43.6→39.4)。非製造業で▼5.9 ポイント(43.9→38.0)。
- ・ 製造業では、「印刷」「窯業」の2業種でDIが上昇。非製造業では、「卸売」「情報通信」の2業種でDIが上昇した。
- ・ 観光関連\*については、商品単価引上げにより業況が上向いたとの声がある一方、物価高騰や夏の猛暑に伴う人出減少によって売上が減っているといった声が見られ、DI は▼16.6 ポイント (54.3 →37.7) と低下した。

#### (1)製 造 業(DI:39.4(前回調査比▼4.2 ポイント))

➤ DI 上昇:2業種(印刷、窯業)

DI 低下:6業種(西陣、染色、化学、金属、機械、その他の製造)

【事業者の声】「材料、主に金の価格が上がりすぎているため商品単価も上がりすぎている」 (上京区/西陣)

「同業廃業による受注増」(南区/染色)

「量産試作段階のものが順次量産段階に移行しつつある」(左京区/窯業)

「アメリカの関税政策の影響が出始めている」(南区/金属)

#### (2) 非製造業(DI:38.0(前回調査比▼5.9 ポイント))

➤ DI 上昇:2業種(卸売、情報通信)

DI低下:4業種(小売、飲食・宿泊、サービス、建設)

【事業者の声】「インバウンドの効果がある」(東山区/卸売)

「営業等人員不足のため、十分な営業ができていない」(伏見区/サービス) 「人員不足による業務生産量縮小」(下京区/建設)



<参考>観光関連<sup>※</sup>(DI:37.7(前回調査比▼16.6 ポイント))

【事業者の声】「商品単価を引き上げた」(東山区/窯業)

「夏の猛暑により例年より人出が少なかった」(左京区/小売)

「外国人客が多く、値段が上がりすぎて常連客が来れない」(中京区/飲食・宿泊)

※ 観光関連とは…観光客を対象とする製品を作る製造業、商品を扱う卸売業、小売業及びサービス を提供するサービス業等のうち、観光関連の売上高が、総売上高の25%以上を占める事業者を指す。

### 2 来期(令和7年10~12月期)見通し

- ・ 来期の見通しについて、全産業の企業景気 DI は、今期実績と比較して+9.1 ポイント (38.6→47.7)。海外取引増加による好影響を予想する声がある一方、引き続き物価高騰等の影響を懸念する 声が多く見られ、基準値である 50 ポイントを下回った。
- ・ 業種別では、製造業は+6.4 ポイント(39.4→45.8)。非製造業は+11.4 ポイント(38.0→49.4)。
- ・ 製造業では、「西陣」「染色」「印刷」「窯業」「金属」「機械」「その他の製造」の7業種でDIが上昇(「化学」のみ低下)。非製造業では、「卸売」「小売」「飲食・宿泊」「サービス」「建設」の5業種でDIが上昇(「情報通信」のみ低下)。
- ・ 観光関連については、秋の観光シーズンに入り、人出が戻るといった意見が見られ、+21.1 ポイント  $(37.7 \rightarrow 58.8)$  となった。
- (1) 製 造 業(DI: 45.8(今期実績比+6.4ポイント) /7業種が上昇、1業種が低下を見込む)

【事業者の声】「年末に向けて受注増の見込み」(南区/金属)

「受注の減少」(北区/化学)

「欧米への輸出の好調が続くと予想」(南区/機械)

「海外からの注文が増加してきて年度末には収支が回復してくる予定」

(右京区/その他製造)

(2) 非製造業(DI: 49.4(今期実績比+11.4 ポイント)/5 業種が上昇、1 業種が低下を見込む)

【事業者の声】「大手企業の設備投資が出回ってきた」(下京区/卸売)

「9月より修学旅行生が来始め、日本人客、紅葉シーズンに期待」(右京区/小売)

「現段階で受注が少ない」(北区/情報通信)

「設備投資による業務拡大」(山科区/サービス)

<参考>観光関連(DI:58.8(今期実績比+21.1ポイント))

【事業者の声】「インバウンドは過去最高を更新しており、秋の観光シーズンに入り観光関連売上増を見込む」(上京区/印刷)

「人員を増強して好転させる見込み」(中京区/卸売)

「紅葉シーズンに国内外の観光客増加」(東山区/飲食・宿泊)



### 3 当面の経営戦略

・ 当面の経営戦略として、「営業力の強化」(62.1%)と回答した企業が最も多かった(前回調査比 +1.8 ポイント)。次いで「人材確保・育成」(56.5%)、「生産・経営の合理化」(35.4%)、「新商品 の開発・販売」(28.4%)であった。前回調査に引き続き、「営業力の強化」と回答した企業が最も 多く、次いで「人材確保・育成」が多かった。

## 4 経営上の不安要素

- ・ 経営上の不安要素では、「人材育成」(39.0%)と回答した企業が最も多かった(前回調査比+1.8 ポイント)。次いで「売上不振」(38.4%)、「人件費増加」(34.9%)、「原材料価格上昇」(32.2%)であった。
- ・ 製造業では、「売上不振」(41.7%)と回答した企業が最も多く、次いで「原材料価格上昇」(39.5%)、「人材育成」(39.0%)であった。非製造業では、「人材育成」(39.1%)と回答した企業が最も多く、次いで「人件費増加」(36.3%)、「売上不振」(35.5%)であった。

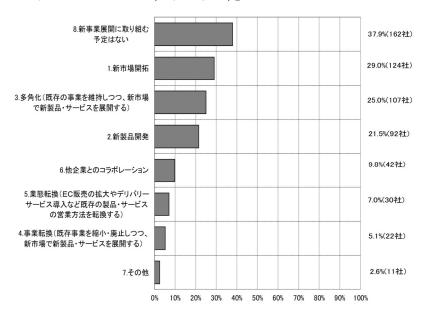


### 【付帯調査:新事業展開、海外展開及びデジタル化・DX について (別紙2参照)】

# A 新事業展開として取り組んでいること、また検討している取組は何ですか。

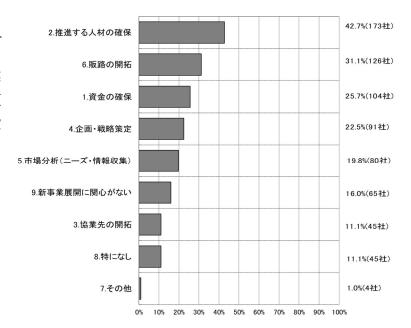
## (複数選択可)

・ 「新事業展開に取り組む予定はない」 と回答した企業が 37.9% (162 社) と 最も多く、次いで「新市場開拓」が 29.0% (124 社)、「多角化 (既存の事業 を維持しつつ、新市場で新製品・サービ スを展開する)」が 25.0% (107 社)、 「新製品開発」が 21.5% (92 社) と続 いた。



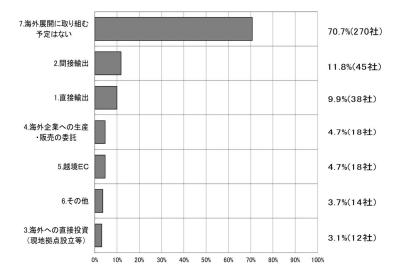
## B 新事業展開の実施・検討において、課題に 感じることはありますか。(複数選択可)

・ 「推進する人材の確保」と回答した企業が 42.7% (173 社) と最も多く、次いで「販路の開拓」が 31.1% (126 社)、「資金の確保」が 25.7% (104 社)、「企画・戦略策定」が 22.5% (91 社) と続いた。



# C 海外展開として取り組んでいる手法、また検討している手法は何ですか。(複数選択可)

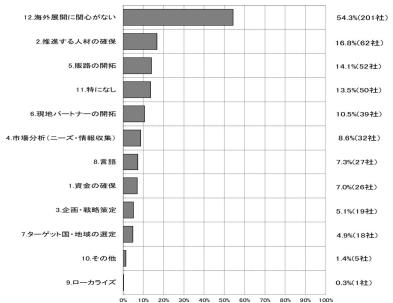
・ 「海外展開に取り組む予定はない」と回答した企業が70.7%(270社)と最も多く、次いで「間接輸出」が11.8%(45社)、「直接輸出」が9.9%(38社)と続いた。





## D 海外展開の実施・検討において、課題に 感じることはありますか。(複数選択可)

「海外展開に関心がない」と回答した
企業が54.3%(201社)と最も多く、次
いで「推進する人材の確保」が16.8%
(62社)、「販路の開拓」が14.1%(52
4.市場分析(ニーズ・情報収集)
社)と続いた。

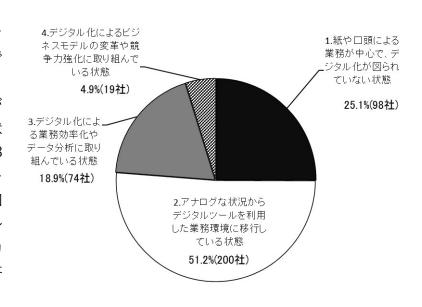


# E 海外展開に取り組むにあたって、特に重要と考えることは何ですか。(海外展開に実際に取り組まれている方に限り回答。複数選択可)

・ 「推進する人材の確保」と回答した企業が 42.9%(36 社)と最も多く、次いで「市場分析(ニーズ・情報収集)」と「販路の開拓」が同率で 36.9%(31 社)、「現地パートナーの開拓」が 27.4%(23 社)と続いた。

#### F デジタル化・DXの取組状況について。

・「アナログな状況からデジタルツールを利用した業務環境に移行している状態」であると回答した企業が51.2%(200社)と最も多く、次いで「紙や口頭による業務が中心で、デジタル化が図られていない状態」であると回答した企業が25.1%(98社)、「デジタル化による業務効率化やデータ分析に取り組んでいる状態」であると回答した企業が18.9%(74社)、「デジタル化によるビジネスモデルの変革や競争力強化に取り組んでいる状態」であると回答した企業が4.9%(19社)であった。



## G 「100億宣言」について知っていますか。

・ 「知らない」と回答した企業が 65.9% (274 社) と最も多く、「知っているが関心がない」が 17.3% (72 社)、「関心はあるが宣言する予定はない」が 13.9% (58 社) と続いた。

<お問合せ先>

京都市産業観光局産業企画室

電話:075-222-3325